



伊那弥生ヶ丘高校図書委員会 2 年 A 組

読書週間中はたくさん本を読むことはできましたか？
これを機に生活の中に朝読書なんかを入れてみていい
かもしれませんね。

蜜柑

芥川龍之介著 ゲミ絵

ある曇った冬の日暮である。私は
横須賀発上り二等客車の隅に腰を
下ろして、ぼんやりと発車の笛を
待っていた。...

主人公である、男性の目線から書
かれたある女の子との汽車での物
語です。そして蜜柑はじのよう
にかかわれてくるのが... 男性の感性
や場面が細かく表現されていたり
綺麗な挿絵が毎ページ入っていて
物語を読むことが苦手な人も、楽
しく読める一冊です。

この本は

『乙女の本棚』シリーズ

Q.『乙女の本棚』シリーズとは？

A. 名だたる文豪の名作を、人気
イラストレーターの植下ろし
イラストと共に読む、新感覚
コラボレーションシリーズ！

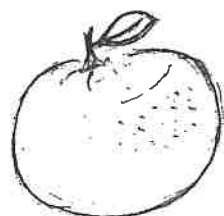
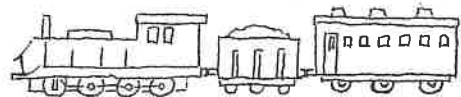
他にも...

・森鷗外『高瀬舟』

・江戸川乱歩『赤い部屋』

・太宰治『近辺み訴え』

等々盛り沢山です！



少年奇譚

川奈まり子

子供時代に体験した不思議な出来事
を語る人は少なくない。その中でも
男性に関しては未成年のときに遭っ
たエピソードが多い。それは彼らが
触れてしまったからだろう。妖し怪
し異しの世界のモノに。子供は此の
世のものとはありつつも異界に近いところにある。理
不尽なことにあやしい者どもは気軽に出没する。逃げ
られない。さて、そんなモノに遭った淡き懐かしり、
少年時代を語る少年たちの話を聞いてみよう。

円尾坂の仕立屋 栗ノP (mothy)

『さあ、仕立てを始めましょう』

円尾坂の片隅にある仕立屋の若き女
主人。気立てのよさと確かな腕で近
所でも評判の娘。そんな彼女の悩み
事は愛する人の浮気症。『私というも
のがありながら家に帰ってきやしな

い』だけ仕事は頑張らなきゃ。鋏を片手に一生懸命。
母の形見の裁縫鋏、研げば研ぐほどよく切れる。

『栗ノ娘』・『栗ノ召使』に始まる『セフの大罪シリー
ズ』と呼ばれる壮大な世界観の中の【嫉妬】をテーマ
にしたお話し。